

とんぐい村の こみ・すく通信

令和3年9月10日発行 第11号

更別村コミュニティ・スクール委員会事務局(教育委員会)

第2回学校運営協議会3校同日開催 その後、CS委員会との合同会議

8月19日に、標記の会議を開催しました。換気や会議の場所を分散するなど感染対策を取りながら進めました。

【各学校運営協議会では】

3校の各会議では、学校運営の状況、今後の教育活動等の取組予定、更別村CSアクションプランの各学校の進捗状況等の報告があり、それらをもとに話し合いがなされました。話し合いの一部を掲載します。



◆更別小学校学校運営協議会

○コロナ禍ではあるが、子どもたちの体験活動の重要性

○子どもの心に残る外部講師との関わり

◆上更別小学校学校運営協議会

○いじめアンケートについて、いじめの定義の理解と先生方の関わり

○ブログ開設ではセキュリティの徹底を

◆更別中央中学校学校運営協議会

○修学旅行に関わる情報提供と保護者としての思い

★上更別小では、学校応援団として「行事等の写真」を撮影してくれる方を探しています。

【CS委員会と学校運営協議会との合同会議】

「子どもたちの生活習慣、インターネット利用に関するアンケート」の結果を受けての熟議をしました。4グループに分かれて以下の2点について熟議いただきました。発表された概要を報告します。

(1) アンケート結果から言えること、課題

- 生活リズムが心配な子どもがいる。
- 寝室へのスマホ持ち込みは寝不足につながる。
- 家庭でのルールがないのは心配。
- スマホ等は便利で生活の中に入り込んでいるが、トラブルが起きた時の対処法は分かっているのだろうか。
- 親がTikTok等の内容を把握できない。
- ネット利用時間が長い子どもがいる。時間管理ができるようになってほしい。親は子どものインターネットの利用時間を把握しているか。
- やらなければならないことと、ネット利用のバランスが大切。



(2) 子どもの実態から、大人は何をしていけばよいか、何をしていかなければならないか

- 親と子どものコミュニケーションをとる、その機会をたくさんつくる。
- インターネット利用の内容を大人が理解すること、把握することが重要である。
- 大人が学び知識をつけていくことが大事である。



- 親子が話し合いをし、一緒にルールを決めていく。

- 親からの一方的なものにしない、ルールを厳しくし過ぎないことも大事。
- 良いことと悪いことの線引きを親子でしっかりと話し合っておく。社会のルールがあればよいが・・・。
 - ネットでの人とのつながりを親が管理する。大人同士でネットに関する情報(リスク)を共有する。
 - 例えば言葉遣いの変化するなどの細かい子どもの変化を把握することが大事。無関心でないこと。信用していることとは意味が異なる。
 - 大人がネットの使い方など手本を示す。